令和5年度　鯖江高等学校定時制　学校評価書

R6.03.01.

項目	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
1 教育課程 ・ 学習支援	①キャリアテストを実施し、一般教養を身につけさせる。 目標指数８０％ ②考査前の図書室の開放、考査前の復習や考査後の補習を通して学習支援を行う。 目標指数８０％	①昨年度に続き目標値を80%とし、生徒は92%→93%、保護者は90%→88%と目標を達成した。企業への就職のほか大学・専門学校への進学も含めた多様な進路選択を見据え、さらなる基礎学力の定着と学習意欲の向上を図っていくことが重要である。 ②昨年度に続き目標値を80%とし、生徒は89%→84%、保護者は65%→69%と生徒では目標を達成した。生徒の学習意欲や意識を維持するために、考査前の復習や、考査後の教科補習を充実させていることもあり、多くの生徒に基礎学力の定着が見られる。また、学習以前の問題を抱えている生徒への支援および保護者の学校での学習活動への理解が課題である。	①事前学習プリントを活用することによって定着度を高める指導を継続していく。キャリアテストの内容については、グループに応じて、各生徒に必要な知識や能力を高めるための手立てを考えていく。 ②日ごろの授業だけでなく、考査前の質問会や自習室開放、考査後の教科補習において引き続き丁寧な学習指導を行っていく。保護者会時には、各教科の授業や補習での生徒の取組等について担当教員のコメントを渡すことで、保護者の理解をさらに深めていく。
2 生徒支援	①定期的な容儀検査で、みなりの個別指導を徹底し、規範意識を高める。 目標指数90% ②登校と下校時に、校門付近で声かけを行い、交通安全指導を行う。 目標指数90% ③生徒間の支え合いを通したいじめ・不登校・問題行動の防止に取り組む。 目標指数90%	①昨年度に続き目標値を90%とし、生徒は93%→91%、保護者は97%→92と目標を達成した。注意指導にはきちんと従う生徒が多く、頭髪・化粧の違反は比較的少ない。引き続き目標指数を高水準で設定し、今後も落ち着いた学校生活を維持していく。 ②昨年度に続き目標値を90%とし、生徒は87%→96%、保護者は95%→94%と目標を達成した。登下校時はもちろん、遅刻や早退の生徒が職員室へ申し出る時に、教員がコミュニケーションをきちんととることで、生活指導や挨拶などのソーシャルスキル指導も行っている。 ③昨年度に続き目標値を90%とし、生徒は93%→85%、保護者は90%→88%と目標をほぼ達成している。今後も、クラスでのロングホーム等の時間や全校生徒参加の球技大会、レクリェーション大会等の学校行事を通して生徒間の親睦を深め、思いやりや助け合いの心を培う取組を継続する。	①引き続き全教職員が共通理解を図り、同じ規範意識で指導にあたる。頭髪や化粧などは、日常的な容儀指導を通して生徒の社会性や品位の向上を図る。 ②日々の登下校指導をはじめ日頃の生徒指導を通じて、生徒の安全確保や生徒理解・把握に努め、今後も生徒の社会性育成につなげていく。 ③SC、SSWを含めた教職員がカウンセリングマインドを持って学校教育活動のあらゆる場面での生徒への積極的な声かけと、個人面談、保護者との情報交換を丁寧に行い、いじめや問題行動等の未然防止、生徒理解に全力で取り組む。
3 進路支援	①キャリア教育研修やキャリアテスト、インターンシップ等を通して、自分の進路について考えさせる。 目標指数80% ②進路支援における面談や面接指導を行う。 目標指数90%	①昨年度に続き目標値を80%とし、生徒は75%→79%→86%、保護者は95%→93%→92%と保護者の評価が高く、目標を達成した。進路意識を深めるために、昨年度以上に一人ひとりに応じた進路支援やアドバイスを丁寧に積み重ねることで進路意識を深め、各生徒の進路実現につなげることができた。 ②昨年度に続き目標値を90%とし、生徒は97%→94%、保護者は93%→96%と目標を達成した。今年度も産業人材コーディネーターや教員による指導が丁寧になされた結果、私立大学へ3名、専門学校へ4名進学し、就職は10名が正規採用内定となった。	①卒業生からのアドバイスや卒業予定者の体験談を聴講するなど効果的な取組を中心に、今後も引き続きインターンシップ、講演会等を充実させていく。 ②社会情勢を把握しつつ、産業人材コーディネーターやハローワーク、市の福祉課などと連携して、より充実した進学・就職指導に努めていく。
4 安全管理 ・ 施設設備	①清掃の指導・監督を通して学習環境の美化に努める。 目標指数90% ②「保健のことです」（毎月発行）による啓発や、日々の健康観察による保健意識の向上に努める。 目標指数70%	①昨年度に続き目標値を90%とし、生徒は100%→98%、保護者は95%→98%、教員は100%→100%と目標を達成した。本校の清掃活動や校内美化への取組は、昨年同様高評価を維持している。 ②昨年度に続き目標値を70%とし、生徒は72%→78%、保護者は85%→87%、教員は100%→100%と目標を達成した。毎月発行の保健だよりの内容について、教室に掲示したり、S.H.等で取り上げて説明するなどの取組を充実させた。	①清掃の監督・指導を通して、自分たちの学校生活空間だという意識を生徒たちが持てるよう、引き続き生徒と教員が一緒に学校内の美化活動に取り組む。 ②生徒一人ひとりが自分や周囲の健康に気を配ることができるよう、普段のコミュニケーションや関連諸行事の中で保健衛生意識の啓発や向上に努める。
5 開かれた 学校づくり	①保護者会その他における生徒の作品、活動写真等の展示を工夫し、学校生活への保護者の理解を深める。 目標指数90% ②学校通信やホームページ、公開授業、陽峰等を通して、教育課程や学校の取組への保護者の理解を深める。 目標指数90%	①昨年度に続き目標値を90%とし、保護者は98%→94%、教員は100%→100%と目標を達成した。保護者の評価は高い達成率を維持した。恒例となった保護者会での生徒作品や活動写真の展示は大変好評であり、教員側としても大変価値のある取組として継続している。 ②昨年度に続き目標値を90%とし、学校通信やホームページについて保護者は88%→80%、教員は100%→100%、陽峰について保護者は88%と目標はほぼ達成している。保護者に伝わる学校通信やホームページ、陽峰を目指すとともに、日頃できるだけ保護者との連絡を欠かさない努力をしてきた成果と思われる。	①保護者が学校生活についてさらに理解を深めるとともに協力を得られるよう、展示の内容や掲示物の種類に変化をつけたり、展示場所を保護者が見やすいように改善したりする。 ②こまめなホームページの記事の更新、継続的な学校通信の発行を続けるとともに、適切な保護者への連絡を積み重ねて、開かれた学校づくりを目指す。